

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部総務課		■担当係	総務係
■評価事業名称	奨学金貸与事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	400100 - 002		■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	■施策	03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	北上市奨学金貸与条例			
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画			
■事業の目的と概要	経済的理由により修学困難な者へ奨学金を貸与し、教育を受ける機会の拡充と人材育成のための支援を行う。貸与額 高校等 月10,000円、大学等 月30,000円			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	奨学資金貸与事業	高校・大学生等	新規貸与者 38人 継続貸与者 60人 貸与者数合計 98人 貸与金額合計 34,320千円	新規貸与者 37人 継続貸与者 58人 貸与者数合計 95人 貸与金額合計 32,970千円

3. 投入コスト情報

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	31,401	30,215	31,673	33,120	
人件費	3,939	3,947	2,853	3,052	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	35,340	34,162	34,526	36,172	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	奨学金貸与者数(新規、継続分)	91人	86人	90人	95人	経済状況の低迷で奨学金を必要とする者は多いと思われるが、申請者数は減少傾向にある。

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等		
<p>経済的な理由で高校・大学等への就学が困難な者に奨学金の貸与を行い、人材の育成に成果を上げている。</p>		<p>地元就業支援奨学金返還減免制度を周知したこともあり、新規貸与者は前年度より16人増加した。今後も奨学金を必要とする者に対し、効果的に制度を周知する必要がある。</p>		
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている 	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する 	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度) 		
<p>3. 事業廃止の影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 大きな不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> ある程度の不利益やリスクが生じる <input type="radio"/> 不利益やリスクは小さい 	<p>4. 市民生活・企業活動への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持の向上に必要 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない 	<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない 	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い 	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である 	<p>10. 実施主体の代替性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能 	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい 	<p>■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)</p> <p>学ぶ機会を積極的に後押し、減免制度と合わせて、優秀な人材を将来的に当市へ呼び込む重要な事業である。</p>	<p>■今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了